

IFI INTERIORS DECLARATION

人が住まい、働き、集う空間を美しく意味ある空間に設えようとするのは自然なことです。巧みにデザインされた空間に身を置く時、人は空間の目的、意味を理解します。人は空間に座して自ら問うでしょう。我は何者か、何者でありえるのかと。心を込めて計画された空間で人は学び、思考し、発見し、創造し、そこに独創的な文化が生まれ、空間は人と思想／アイデアを繋ぐ架け橋となります。

知的職能人である私達デザイナー・建築家は、持てる知識を駆使して人々の要請に応える空間を形作ります。人間空間こそが私たちの持てる適性と情熱を傾けて行う仕事の領域です。関わる空間に責任を持ち、世界の経済、天然資源の維持と活用に最大の理解を持って職能を遂行します。人間の体験が展開される空間をデザインします。健康と安全、あらゆる幸福の為にデザインします。全ては究極のクライアントである人間性に奉仕する行為であり、人間の経験を形にします。デザイナーの職能を遂行し、創造的な解決を提供することにより私たちデザイナーは人間社会のテーブルに自らの席を得ることができます。この職能はクライアント、社会、そして私たち自身にとっても重要で、他の職能との違いを生む由縁であり、この崇高な仕事を選んだ理由であります。

VALUE 価値

この職業にはおのずから指導的役割りが伴います。業務遂行上での発見、理解、評価等が繰り返行われ、それらの相互作用のプロセスを可視的、かつ現実的な利益を生む目的で利用します。空間を用いる人々のインテリアスペースと生活の向上を見える形で創造します。この過程において依頼者は自らの判断の価値を理解し、ユーザー及び社会に利益をもたらすよりよい決断を下す助けをします。願わくはこの職能が信頼に値する発言力を持ち、ユーザーの心理的、感情的な日常の振る舞いのパターンの関連の中で、多様な研究モデルを展開させていきます。

RELEVANCE 関連

業務の開始にあたり先ずプロジェクトを確定し、その全ての段階において人間の経験を尊重し擁護します。インテリア・建築デザイナーは、人間と環境エコロジーの調和を図り、科学をあらゆる感性に訴える美しさに置き換えます。誠実に傾聴し、観察し、分析をおこない、独自のアイデアとビジョンを作り出し、発展させ、価値ある空間を作り出します。

RESPONSIBILITY 責任

インテリア／建築デザイナーの責任は、求められる専門性を明確にし、人々と共に自ら学び、既存の環境の中でのエキスパートとして公共の領域の中に自らを位置づけ、職能の推進と社会的な幸福を擁護することにあります。

CULTURE 文化

インテリア・建築デザインは文化の形成に携わる一業態として、文化的資本の意味を理解し、翻訳し、これを編集するプレースメーカー(場を作る者)です。グローバルな世界に於いて、文化的多様性の維持、促進を守る役割を果さねばなりません。

BUSINESS ビジネス

インテリア・建築デザインは利害関係者に価値をもたらす、経済発展の一要素である福祉を前提とします。投資に見合った多面的な見返りをもたらす戦略的なリーダーシップを発揮します。インテリア／建築デザイナーは持続的な利益と職能意識を高める教育を推進します。

KNOWLEDGE 知識

インテリア／建築デザインを遂行するには論理的かつ応用的知識、そして内面的知識が必要不可欠です。インテリア／建築デザインが実務上関わる量と質に関する知識に対して、環境心理学と人体測定学の双方は時に相容れないこともあり、批判的でもあります。

IDENTITY アイデンティティ

インテリアデザイナー／建築家は生活の質の向上を目指して心理的かつ身体的なパラメーター(数値)に基づいて、空間と人間との関係を正確に規定します。